



そろそろ帰りたい・・・ニホン✿入国|空港のリアル

いよいよ帰国 日本の空港、入国のリアル

一時帰国で体験した日本のコロナ水際対策と盲点
～リスクコンサルタントとしての視点～



コロナ一時帰国。成田空港 で何が、どのように行われる のか?とても気になりました。

ワケありで海外(香港)単身赴任中ですが、さすがに半年以上もリアルで顔を会わせること無く時間が過ぎ、子供の心の育成にも良くないと感じていたところ、Facetimeで娘が見せた涙。『すぐ帰ろう』とフライトを予約。8ヶ月前は自由に行き来していたのですが、コロナが大流行したあとは移動そのものが極端に制限されてきました。

実際、一時帰国を決めたあと帰国経験者、インターネットでの情報収集など色々してみたのですが、なかなか詳しい情報が無かったもので「どの様にPCR検査するのか?」「何時間待機しないといけないのか?」「実際にどの様に移動するのか?」など、自分自身で検証するしかないと思い、成田空港到着から出口までの3時間超をどの様に過ごしてきたのか?あなたが『帰国』する際の参考にして頂けると幸いです。



香港空港はとても薄暗く、かつての活気のある空港のイメージはありませんでした。飲食店はマクドナルドのみ。イミグレも手荷物検査場もとてもスムーズ。各航空会社

のラウンジは各社一箇所のみ。スタッフの数のほうが旅行者より圧倒的に多く、溢れんばかりのブランドショップは『ほぼ閉店状態...』でした。余りにも人が少なくて、正直少し怖さを感じましたね。お子様連れの移動はとても気を使いました。また外を眺めると、巨大な飛行機が列になり、いつ来るかも分からない出番待ち状態が、一つの時代の終わりを表現していました。



航空会社の破綻が気になるレベルの乗客数の少なさ

さて、飛行機搭乗まではとてもスムーズ。スムーズと言うよりは「これで航空業界は大丈夫なのか?」と別の不安が頭をよぎりました。機内も横にも前にも人がおらず、通常なら『ラッキーフライト』レベルなのですが、私の便で30数名しか乗客がいませんでした。機内食もシンプルで皆それぞれ微妙な距離感で過ごしていました。兎に角コロナの収束と共に旅行者の回復を祈りたいと思います。

ニホン入国の際に必要な書類が増えているようです。

通常は手荷物申告用紙1枚が配られるのですが、コロナ発生以降は滞在国内、体調確認、日本国内の滞在先、居住先、すぐに連絡できる連絡先などを詳細に記載する用紙が2枚追加されていました。あとにご紹介する『入国のリアル』レポートには用紙画像を添付していますので参考して下さい。

今回は成田空港を選択して日本一時帰国を試みましたが、国によっては『羽田空港発着』『関西空港発着』『福岡空港発着』など間隔としては少しずつ空港が開いていくイメージです。また知人からの情報では、それぞれの空港で『PCR検査結果』が出るまでの待機時間が異なり、それぞれの空港に見合った検査オペレーションを展開しているようです。実は『成田空港が一番時間がかかった?』ようです。確かにあんなに空港内をグルグル歩き、待ち時間の長さで疲弊しましたが、あのシュールさは今思い出して異様でした。



到着後空港内での隊列行進

▶続きは『無料レポート』で

『入国のリアル』無料レポートプレゼント

110
ONE-TEN

今回は『成田空港編』2020年8月時点の情報なので、今後少しずつ情報は古くなるかもしれません。更新情報としては『羽田空港』『福岡空港』の簡易情報も記載しています。右のフォームより、ダウンロードして下さい。



Insurance110 Director 才田 弘一郎

香港、シンガポール、日本、アメリカなど各国の保険事情に精通。「出口戦略」を意識した資産運用提案が得意。多数の失敗談も人気です。